

# 令和7年度 那覇空港航空機事故対処総合訓練報告



理事 出口 宝



令和7年11月20日（木）に令和7年度那覇空港航空機事故対処総合訓練が実施されました。

本訓練には65機関426名、うち救護班チームは15機関66名が参加しました。本会からは小職と事務局1名が現場合同指揮所の要員として、南部地区医師会、那覇市医師会、中部地区医師会から救護班が参加しましたので報告します。

## 1. 訓練実施内容

### 1) 目的：

那覇空港における航空機事故の発生に際し、適切かつ迅速に対応するため、空港内外の各関係機関相互の緊密な連携を保ち集結・トリアージ、担架搬送、救急医療活動、後方医療機関への搬送等の手順を検証することを目的とする。

### 2) 日時：

令和7年11月20日（木）  
14時00分～16時00分

### 3) 場所：

那覇空港西側沿岸（空港ビーチ）及び台風時避難用エプロン

### 4) 主催：

那覇空港緊急時対応計画連絡協議会

### 5) 想定：

ABC航空2025便は（羽田→那覇/B737-800型機）が、那覇空港北側約10マイル（約16km）上空において、バードストライクにより両エンジン停止となり「緊急事態」を宣言、その5分後に那覇空港B滑走路へ北側から着陸を試みるが、滑走路末端着陸誘導灯付近で不時着水した。那覇空港事務所は直ちに空港消防を第二種出動させるとともに、多数の傷病者が発生する可能性が高いことから「那覇空港緊急時対応計画」を発動して、関係機関へ緊急通報を開始した（Fig.1）。

### 6) 訓練項目：

(1) 情報伝達 (2) 現場到達 (3) 救護所設営 (4) 救出 (5) 避難誘導 (6) 傷病者選別（ト

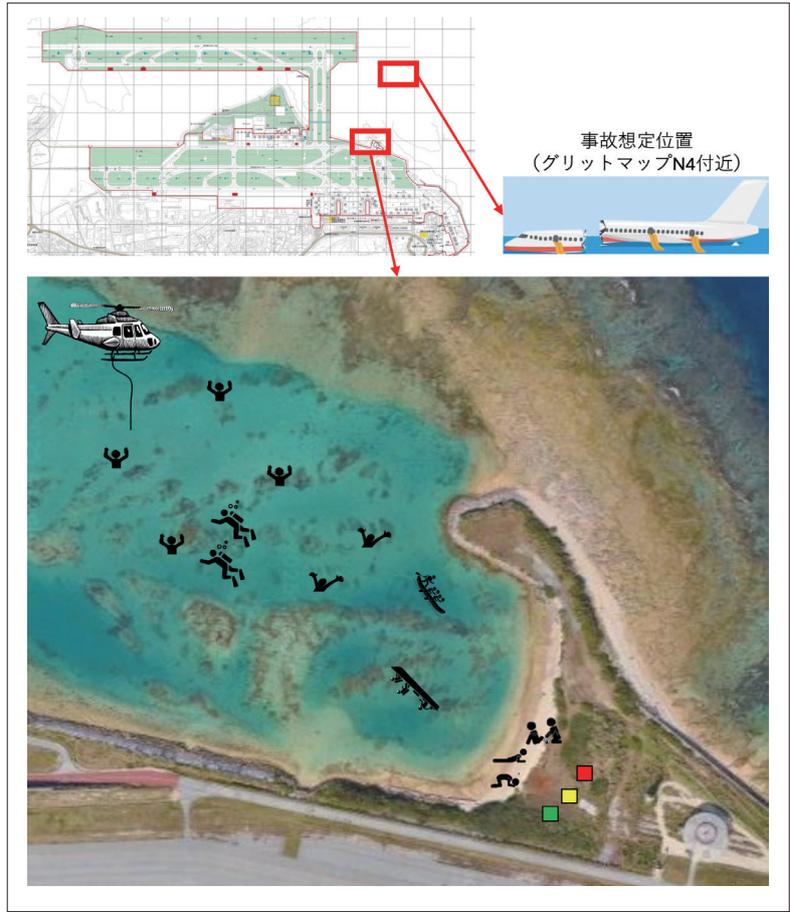


Fig.1 訓練会場

リアージ) (7) 医療救護活動 (8) 搬送 (9) 現場合同指揮所設置・運用の実動訓練。

7) 参加医療機関：

沖縄県医師会、那覇市医師会、南部地区医師会、中部地区医師会、日本赤十字社沖縄県支部、沖縄赤十字病院、浦添総合病院、沖縄協同病院、友愛医療センター、南部徳洲会病院、県立南部医療センター・こども医療センター、中頭病院、県立北部病院、ハートライフ病院、琉球大学病院

2. 訓練

本訓練の前に 11：30 から空港関係者による緊急事態発生情報伝達訓練が行われました。

14：00 に事故発生とともに実動訓練開始。CAB（航空局）の消火救難班が現場到着し避難誘導、那覇消防が到着し CAB 医療搬送車担当が救助者集積場所・トリアージポストを設置

しました。続いて消防機関をはじめ各機関が到着して救出活動、トリアージが行われ、第 1 現場救護所（トリアージ赤）、第 2 現場救護所（トリアージ黄）、第 3 現場救護所（トリアージ緑）、遺体仮収容所（トリアージ黒）を設置しました。現場合同指揮所を空港事務所航空保安防災課、現場指揮本部、救急指揮所是那覇市消防局が指揮しました。続いて医療チームが到着して現場指揮本部で登録後に救急指揮所の指示にて救護所活動から搬出活動を行いました（Fig.2）。

また、今回は海への不時着であり、消防並びに自衛隊による水難救助訓練も行われました（Fig.3）。救急指揮所是那覇消防と DMAT（Fig.4）、第 1 現場救護所は DMAT（Fig.5）、第 2 現場救護所は DMAT と地区医師会医療班（Fig.6）、第 3 現場救護所と遺体仮収容所は地区医師会医療班が担当しました（Fig.7.8）。今回も傷病者役には、ムラージュ（負傷をリアルに再現した特殊メイク）を施した那覇市医師会那覇看護専門学校の学生さん 50 名の協力がありました。





Fig.5 第1現場救護所



Fig.6 第2現場救護所における南部地区医師会医療班  
(南部地区医師会写真提供)



Fig.7 第3現場救護所における那覇市医師会医療班  
(那覇市医師会写真提供)



Fig.8 遺体収容所で活動する中部地区医師会医療班  
(那覇市医師会写真提供)



Fig.9 参加医療チーム (那覇市医師会写真提供)

ベルアップしていました。実災害時には、このように全てがスムーズいくとは考えられませんが、「訓練でできないことは本番でもできない」と言われるように定期的に繰り返し訓練をすることの重要性を再認識しました。

県内では沖縄県総合防災訓練、美ら島レスキュー、那覇空港航空機事故対処訓練などいくつかの訓練が毎年実施されています。そし

て、DMAT、日赤、JMATなど参加した医療チーム全員で集合写真を撮るようになっています (Fig.9)。県内の様々な機関のメンバーが顔を合わせて活動をすることで横の繋がりができる良い機会になっています。「顔の見える関係」づくりも訓練参加の大切な目的と成果になっています。今後も各地区医師会から各種訓練への参加をよろしくお願い致します。